

数字で振り返る岩見沢



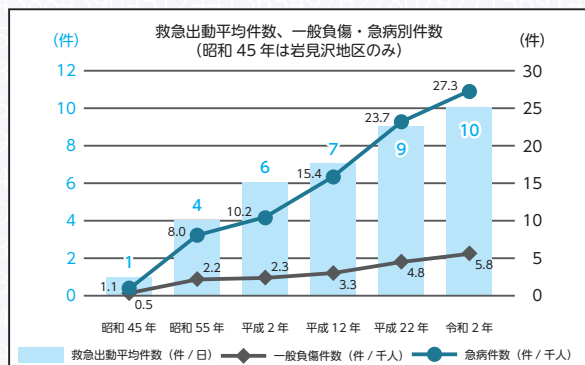
私たちにも救える命と

第9回 救急活動

今月の数字 1日10件

村役場を含む市街地の半分以上を焼失した明治29年5月の岩見沢村大火を教訓に、明治30年に公設消防組が創設され、大正15年に常備制の消防組ができました。消防組はその後、警防団に改組、昭和22年に制定された消防組織法に基づき昭和24年に消防本部、消防署が発足しました。昭和38年に消防法の一部改正により自治体消防が救急業務を担うこととなり、市は昭和42年12月に救急車を配置し、市内医療機関と連携して救急業務を開始しました。これを昭和47年に発足した消防事務組合が引き継ぎ、救急車を定期的に更新、増強しながら市民の大切な命を守っています。

救急業務は、災害による事故などを想定して始まりましたが、実際には急病人による出動要請が多いことから、市は昭和53年に夜間における急病患者の応急的な診療を行うため、夜間急病センターを設置しました。昭和55年から令和2年までの40年間で、救急車の出動は1日平均4件から10件に増加し、急病による出動要請が半数以上を占めています。また、高齢化に伴う家庭での転倒事故などの一般負傷も増加しています。



応急手当講習会（平成7年第10回 いわみざわ健康まつり）

突然のけがや病気に対する救急活動は、私たちの不安や心配を解消してくれますが、搬送人員の約半分が軽症患者です。岩見沢消防署は重症患者などへの対応が遅れ、救える命が救えない事態を防ぐため、救急車の適正利用を呼び掛けています。また、講習会などを通して、いざという時に役立つ応急手当の普及啓発にも取り組んでいます。救急車が到着するまで救命処置を行うなど、私たちにできることを考えてみましょう。

人の動き（令和6年10月31日現在）

●住民基本台帳 人口 男 34,732 人（前月比－49）
女 39,707 人（前月比－36）
総数 74,439 人（前月比－85）
世帯数 40,559 世帯（前月比－38）

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎ 0126-23-4111（代表）FAX 0126-23-9977
ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報室

広報クイズ

プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

問題

給食を作る合言葉は“□□□□な～れ”。こどもたちの笑顔を思い浮かべながら、思いを込めて調理しています。
□に当てはまる言葉をお答えください。

締め切り 12月20日(金)(必着)

応募方法

はがき（送付先左記）、市ホームページのフォーム、ファックス（0126-23-7731）、Eメール（pr@city.iwamizawa.lg.jp）で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。11月号の正解はギリシャでした。

